

各会派による 代表質問

目次

平成31年 2月27日

平成31年 第1回甲賀市議会定例会代表質問

順番	氏名 (会派名)	質問事項
1	橋本恒典 (凜風会)	1 市長任期折り返した今、自己評価と展望は 2 施政方針及び新年度予算について 3 平成31年度主要事業について 4 衆議院選挙における不適切集計と職員のコンプライアンスと意識改革について
2	森田久生 (志誠会)	1 岩永市長の市政に向かう政治姿勢(スタンス)について 2 市長が掲げた「甲賀のまちづくり政策集」の進捗状況と今後の展望について 3 平成31年度予算編成方針並びに一般会計予算案について 4 当市を取り巻く重要諸課題について
3	田中將之 (公明党甲賀市議員団)	1 SDGsを市政運営に活かすことについて 2 平成31年度予算編成に対する考え方について 3 「いのちを守る」防災・減災について 4 女性・若者・高齢者・障がい者等の活躍推進について 5 子ども、子育て、教育について 6 観光振興について 7 持続可能なまちづくりのために
4	小西喜代次 (日本共産党甲賀市議員団)	1 市民のいのちと暮らし、安全を守る立場から、焦点となっている国政の課題について市長の所見を問う 2 市長任期の折り返し点に立っての評価と課題 3 新年度予算案が市民の切実な願いを実現する予算とするために 4 幼・保学校再編計画について 5 2017年衆議院選挙の開票事務不正処理問題について



高校生からの「議会だよりは難しくてわからない…」の声に応えたい!

代表質問 ・ 一般質問 ってなに？

定例会の中で、議員が市長などに対して、市政運営についてチェック・提案できる重要な議員活動の場です。会派の代表者が質問することを「代表質問」、議員個人が質問することを「一般質問」といいます。毎回それぞれの議員が関心のあるテーマを取り上げて、色んな視点から甲賀市のことを考えています。

一般質問で議員が話す時間の制限は1人30分まで。
たまに時間切れになる人も!?

QRコードから
実際の映像も
見てみてね。



■ 答弁者の凡例

総合政策部長	総政部長	選挙管理委員長	選管委員長	危機・安全管理統括監	危機統括監
産業経済部長	産経部長	市民環境部長	市環部長	健康福祉部長	健福部長
		こども政策部長	こ政部長	農業委員会事務局長	農委局長

公職選挙法メモ

議員は選挙区内に病氣見舞金を出すことが禁止されています。

代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

QRコードで質問の録画が見られます。



都市機能の集積が期待される真生川駅周辺

凛風会
橋本 恒典

新年度予算提案の
市長の所感は



◎まちづくり政策集13項目の自己評価と今後の展望は。

市長 女性の活躍については一定の成果が得られ、教育の充実や文化・スポーツの振興、子育て政策の充実など8分野については各事業が進行中。

全体を通して見ると、それぞれの事業について、全ての事業に着手できていることは一定評価できるものと考えている。

◎残りの任期における展望と市政に対する思いは。

市長 各事業の取り組みは未だ道半ばで、確かな成果を出せるよう、残りの任期をしっかりと取り組んでいく必要があると考えている。

◎平成31年度予算案を提案するにあたっての所感は。

市長 総合計画に掲げる「あい甲賀 いつもの暮らしに、しあわせを感じるまち」の実現に向けた施策を確実に実施することを念頭に、新年度当初予算を編成した。

◎選挙管理委員会に出された答申に、今回の事象を他人事ではなく全職員自らの事として取り組み再発防止に努めるとともに、継続した意識改革の必要性を再認識した。

志誠会
森田 久生

有利な借金
合併特例債の活用は



◎就任3年目に入った市長の市政に向かう政治スタンスは。

市長 市長就任1年目は「感謝」、2年目は「共感」、3年目の今年は「堅実」をモットーに、「オール甲賀」の体制で市政運営にあたる。

◎市長が掲げた政策集(マニユフェスト)進捗の自己評価は。

市長 小中学校のエアコン設置やトイレの改修、ICT推進等の教育環境の整備、子育て施策や女性が活躍できる仕組みづくり等、一定の成果は表れていると自己評価。

◎有利な借金と言われている合併特例債活用事業について。

市長 発行限度は約44.2億円。30年度末時点の発行総額は約26.9億円。新年度予算では、西部学校給食センター建設事業、信楽地域市民センター整備事業、水口地域保育園整備事業等で約64億円を活用。残り約11.0億円。



総工費68億円の水口本庁舎
その内46億円が有利な合併特例債を活用

◎当市を取り巻く「重要諸課題」として、①甲賀市公共施設等総合管理計画について、②当市の観光推進施策について、③甲賀市地域情報化基盤整備事業について、④市内公共交通の充実について、⑤改正入管難民法施行に向けて外国人労働者への支援強化について、⑥衆議院選挙開票不正事案に対する進捗と今後の動向について、の6課題に関し、市長並びに所管部長に市の考え方を質問しました。



代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

公明党 田中 將之

持続可能な甲賀市を
作るために

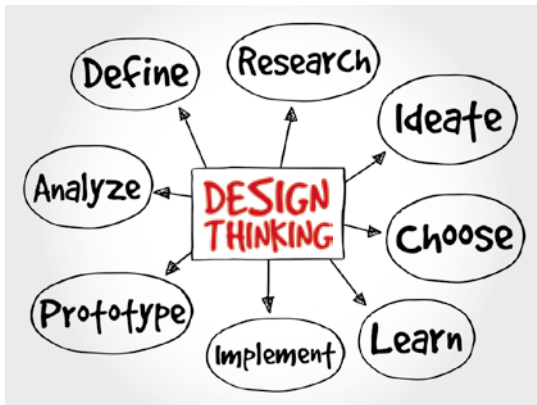


◎ エリアマネジメント、都市経営について市の認識は。

市長 エリアマネジメントとは、「地域における良好な環境や価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組み」であり市が掲げる「オーラル甲賀」の考えと共通。今後、人口減少が見込まれる中、一定の行政サービスを維持し、多様化する住民ニーズに応えるには、この考え方を活かし、地域資源を有効に活用し、公民連携による地域経営やまちづくりを包括的に進め、地域の価値を高めることが重要。

◎ デザイン思考を行政にも取り入れてはどうか。

市長 デザイン思考とは、「市民との共感による問題発見」から「施策の迅速かつ反復的な見直し・検証」の一連のプロセス。これまでの行政施策は、一部の市民、事業者の要望や、行政職員の仮説に基づくものも多い。また、行政が一度決定した施策は、継続性にこだ



わり、不平等を恐れ、事業の見直しや改善に消極的となる傾向もある。現在の政策形成プロセスにおいて、いま一度、このデザイン思考の考え方に沿った検証を行うとともに、職員が積極的に「市民の本音」を捉え、施策に反映するために、現場での「トライ・アンド・エラー」を応援する。

共産党 小西喜代次

合併特例債の集中は
将来に負担が



◎ 厚労省の統計不正に対する認識と市政への影響は。

市長 統計は施策の基礎的根拠で重要な役割がある。市政にも影響が生じる事も考えられる。

◎ 新年度予算案が市民の切実な願いを実現する予算となっているか。予算編成の基本的な考え方、及び重点事業とポイントは何か。

市長 「オール甲賀で未来につなぐチャレンジプロジェクト」の3つのテーマに沿った事業を重点的に推進する予算編成とした。

◎ 31年度予算案、新市建設計画と中長期財政計画の見直しは。

市長 健全財政を堅持できるように中長期財政計画を見直した。31年度は市債発行がピークを迎えるが、将来負担比率は中長期財政計画に示す数値内におさまる。

◎ 市内3地域の幼保・小中学校再編検討協議会で存続するとの見識ある判断をされた。受け止めと見直す考えはどうか。

教育長 十分な議論の結果と認

識し、重く受け止めている。再編計画の見直しは考えていない。



幼保・小中学校再編検討協議会で保育園、小学校を存続するとされた雲井小学校

◎ 2017年衆議院選挙の開票事務不正処理問題の全資料の開示は真相解明の前提で、必要な資料の公表を求める。

選挙委員長 地方自治法に基づく手続きが必要。開票事務不正調査特別委員会と協議し対応する。